

包括的核実験禁止条約（CTBT）は25年前の1996年9月24日より署名を開始し、交渉を重ねてきました。

核の時代の幕開けから、世界では2000以上もの核実験が行われ、軍拡競争が広げられました。

CTBTへの署名と条約発効は、現在、そして未来の世代が暮らす世界をより平和なものにすることを意味します。CTBTの署名開始25周年にあたり、包括的核実験禁止条約ユースグループ（以下CYG）は核実験の恐怖と悲惨さを繰り返させないよう歩を進めてきた本条約に敬意を評します。本条約は世界での核兵器開発、拡散を抑制し、核なき世界への段階的なアプローチとして軍縮不拡散分野における重大な役割を担ってきました。

この25年、包括的核実験禁止条約準備委員会（CTBTO）は国際監視システムとしての機能、その重要性を確立してきました。CTBTOは最先端の科学と技術、そして国際的な専門家の監視下に置くことにより、国際社会の認知なしでの核装置を使った実験を困難にしました。

CTBTOは今後も成長し続けます。そして、CYGというグループは教育、条約の普及活動、そして「核実験を終わらせる」という共通のゴールを目指す若者の多様なコミュニティ形成に取り組むCTBTOの活動を象徴するものであり続けます。

私たちの使命はまだ終わっていません。多くのCYGのメンバーはCTBTと同世代です。

そして、残念ながら本条約はまだ発効していません。条約が未発効であることは国際社会が核実験を検知し、調査することの足枷となっており、不安な未来が待ち受ける扉を開いたままにしているのです。

そのため、170の本条約批准国、185の署名国には感謝の意を表します。

そして、本条約の付属書二に掲げられる発効要件国には1日も早い批准を呼びかけます。

CYGは賢人会（Group of Eminent Persons）と共に知識を深め、世代を超えた対話を重ねる機会を頂けることを誇りに思っています。

明るい未来を実現するために、私たちは人生の先輩である指導者の方々に訴え続けます。

若者の視点やアイディアを取り入れてください。

次世代のリーダーに今日の複雑な課題に取り組む機会を積極的に与えてください。

核実験が2度と行われない未来を創るためには、

私たちが常に政府、自治体、指導者に、核実験の禁止は率先して取り組んで欲しい最優先事項であるということのアピールしていかなくてはなりません。

私たちは、心の底から信じています。核実験のない世界はより良い世界であると。

そして、CTBTという条約は核実験のない世界実現のために必要不可欠な条約であるということ。

CTBTが始めたことを、今こそ一緒に終わらせましょう。